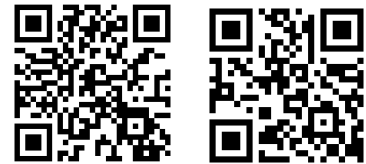


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第190号



2022年8月16日発行

ホームページ メール

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

046-823-0210 (内433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9-19



単組の活動報告 愛加那労働組合

Yデッキ下で最賃大幅引き上げの宣伝！

7/24(日)、恒例のYデッキ宣伝は、原子力空母市民の会とかち合ったため、Yデッキ下のメタセコイア前で、神奈川労連の住谷議長の支援を受けて行いました。

コロナ禍で猛暑の中、人通りは少なかったものの、ハンドマイクでの訴えに、ティッシュに入ったチラシを受け取り、ゼッケンの文字を読んで話しかけてくる市民もいました。

中央最低賃金審議会は、引き上げ額の目安を31円(3.3%)と決めました。過去最大の引き上げ額と言いますが、下位30道県は30円増と差をつけて、縮まってきた格差が広がります。平均千円の達成期限は2020年だったのに、まだ達成できません。尚神奈川県は1071円になる見込み。

津久井浜駅から見える「社会福祉法人結いの会愛加那」は、介護保険の開始と同時に、高齢者福祉総合施設としてショートステイ、デイサービス、居宅介護支援と、在宅介護の支援を行っています。

前理事長の長年のパワハラ問題や不当労働行為、支配介入に耐え切れず、県医労連に数名が個人加入し、2018年12月には愛加那労働組合を発足し、その後過半数組合となりました。県医労連と横三労連の支援を受け、2019年3月まで前理事長と弁護士を相手に3回の団体交渉、2回の協議会を行いました。協議の途中で前理事長が逝去され、組合の前委員長が職員代表として理事の一名に加わり、同年4月から新たな理事会で運営が行われています。

また、5年間に渡る市からの特別指導監査で、当法人から前理事長の会社への利益供与、介護保険運営基準違反や人員基準違反が指摘され精査されていましたが、理事会が一新し適正な運営がされていることが認められ今年3月末に何も返還やペナルティなく特別指導監査が終了しました。

新型コロナ肺炎で、昨年1月今年2月とクラスターが発生し、多くの利用者と職員が罹患しました。現在も第7波で心配な毎日ですが感染防止に努めることしかできません。愛加那労組の活動も何もできず2年以上が経過していますが、今年6月には新規加入者が6名増えました。歓迎会を兼ねたイベントを企画しましたがコロナで中止になりました。

まだまだ予断を許さない状況ですが愛加那労働組合の意義を確認し、職場環境の改善や福利厚生面の充実等、働きやすい職場を目指していきます。

愛加那労働組合 執行委員長 永峯暁美

原水禁世界大会&原爆展！

被爆77周年の夏、ロシアが核の脅迫を始めた年の夏、原水禁世界大会が広島で開催され、横須賀でも産業交流プラザで視聴し、6日には10人が参加しました。

また、8/24(水)まで、恒例の原爆展が、市民活動サポートセンターで展示されています。今年は、医療生協所蔵の大きなパネルを展示し、見栄えがあります。反戦平和を考える夏、是非ご覧ください。

